

第43回 全国土地改良大会 群馬大会

未来（あす）の土地改良

農林水産省 農村振興局次長
安部 伸治

目 次

第 1 章 群馬の土地改良史

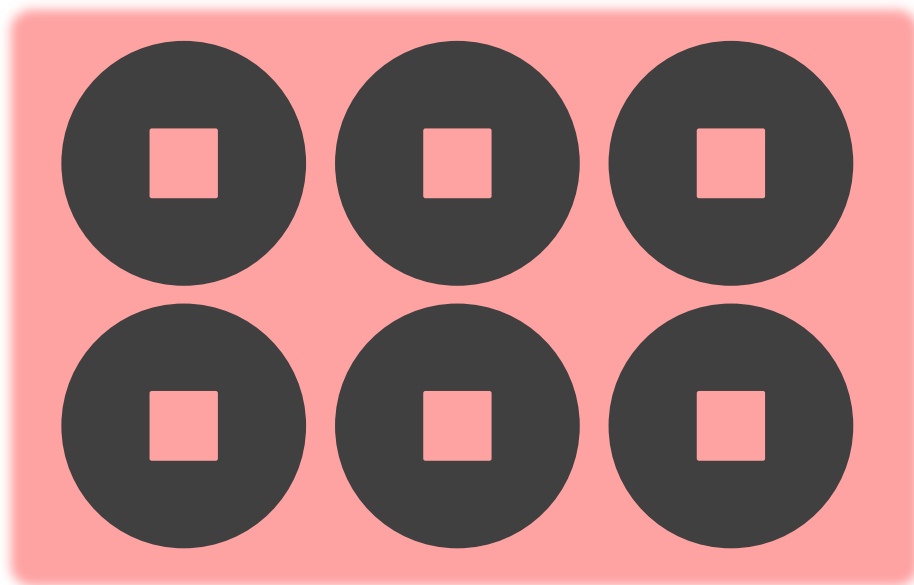
第 2 章 土地改良をめぐる動き

第 3 章 土地改良の未来（あす）

第1章

群馬の土地改良史

～沼田藩真田氏の用水開発と嬭恋村の土地改良～

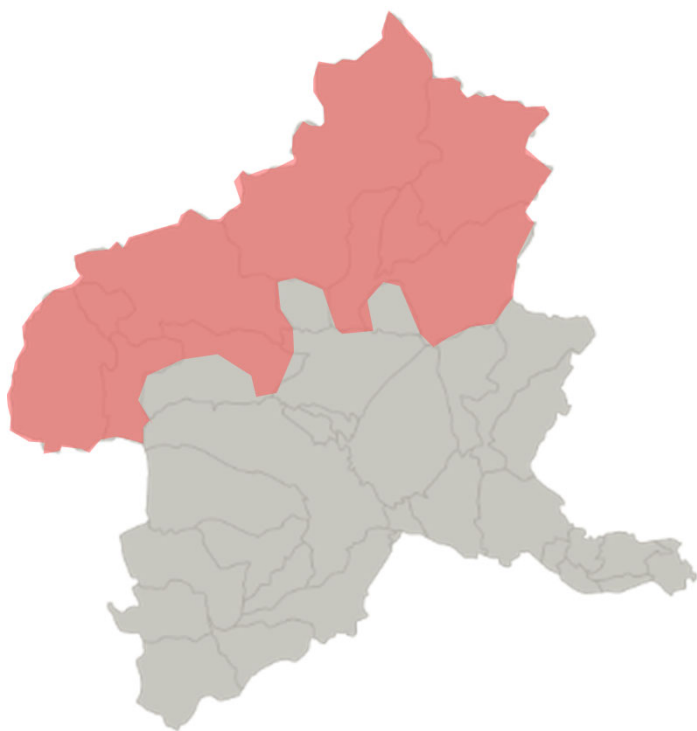


嬭恋村HP

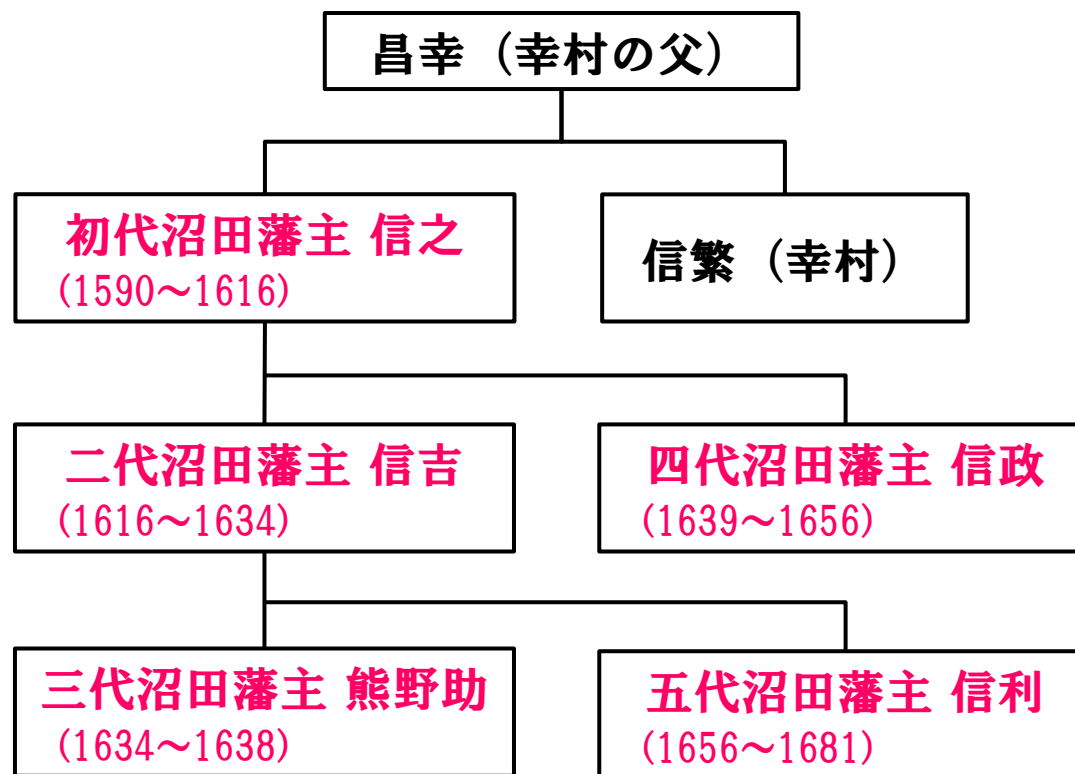
第1章 沼田藩真田氏による用水開発

- ➡ 真田氏は、真田幸村の兄 信之から五代にわたり沼田藩を統治
- ➡ 用水開発、新田開発を積極的に進めて農業生産力を向上

沼田藩真田氏領地（群馬県内）



真田氏の系譜



第1章 沼田藩真田氏による用水開発

- ➡ 大小100余りの農業用水路を整備し、石高は3万石から14万石に増加
- ➡ 耕作者の確保のため、精神的な拠り所となる寺社を造営

大小100余りの農業用水路を整備



取水口付近



観音沢を渡る水路橋



水門から隧道を経て沼須宿へ

真田用水研究会(2020)「沼田藩真田用水群の魅力」上毛新聞社



権現溜池

寺社造営により住民が定着



真田信吉が眠る天桂寺

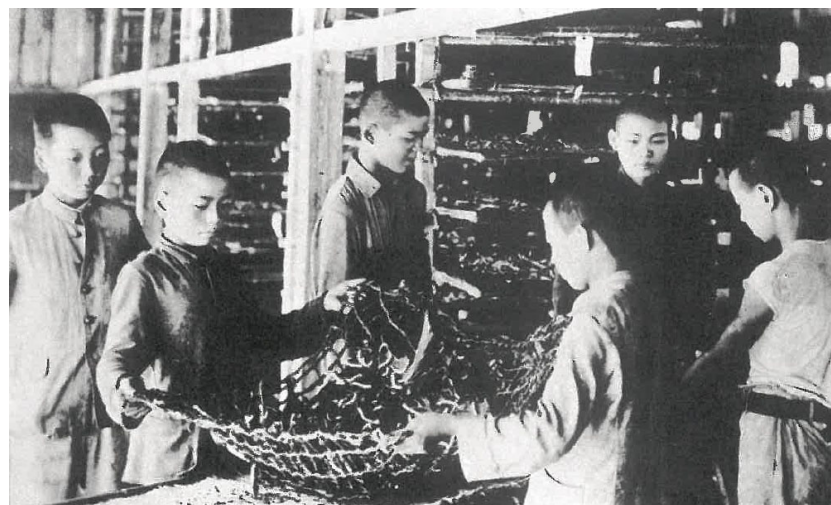


龍谷寺

第1章

日本一のキャベツ産地を支える土地改良

- ➡ 嬭恋村の気象は北海道の旭川に匹敵するほどの厳しさ
- ➡ 高冷地のため稲作が適さず、農家は冷害に強い雑穀や馬鈴薯などで生計を維持



嬭恋村制施行百周年記念事業写真集編集委員会(1989)「写真で見るふると嬭恋のあゆみ」 嬭恋村

第1章

日本一のキャベツ産地を支える土地改良

- 土地改良で農地や道路を造成し、農産物の安定供給と農業経営の安定化を実現
- 冷涼な気候を活かしたキャベツ生産などにより農業所得を向上

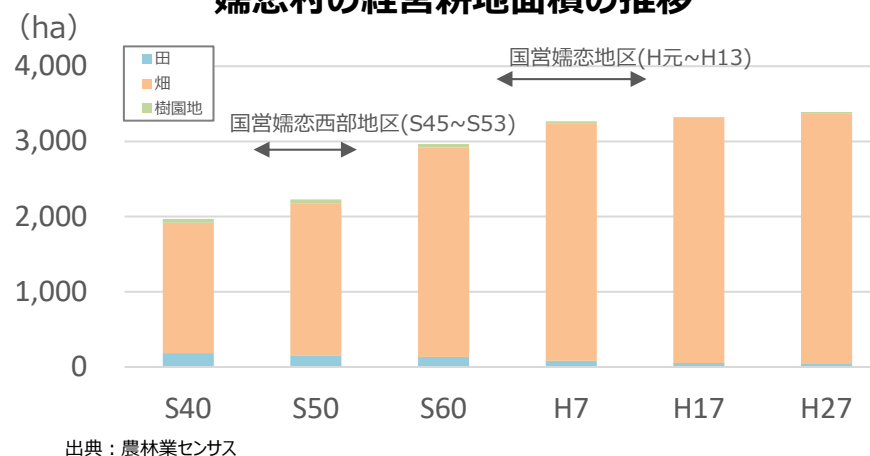
国営事業により造成した農地



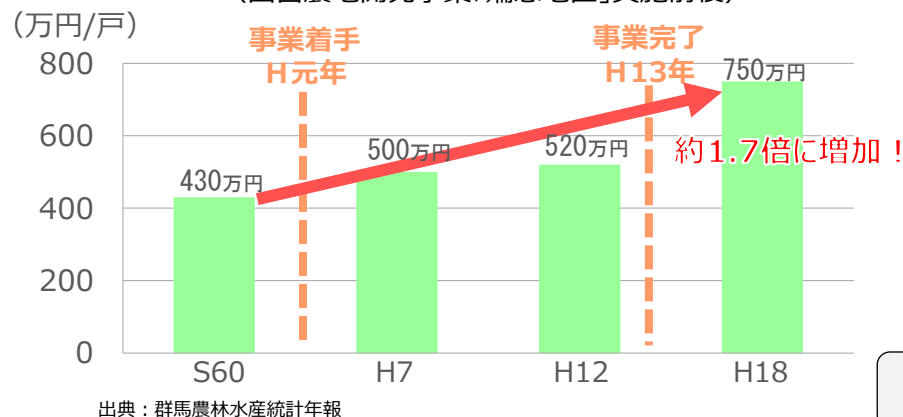
国営事業により造成した道路



嬬恋村の経営耕地面積の推移



嬬恋村における戸当たり農業所得の推移
(国営農地開発事業「嬬恋地区」実施前後)



第2章

土地改良をめぐる動き

～ため池工事特措法と新たな土地改良長期計画～



(1) 防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法

【令和2年10月1日施行】

point

☞ 防災重点農業用ため池に係る防災工事等について
集中的かつ計画的に推進（令和12年度まで）

<概要>

- 農林水産大臣は、防災工事等の推進を図るため、**防災工事等基本指針**を策定
- 都道府県知事は、基本指針に基づき、**防災重点農業用ため池**を指定
- 都道府県知事は、防災重点農業用ため池を指定したときは、**防災工事等推進計画**を策定
- 都道府県は、推進計画に基づく防災工事等の実施者に対し、**技術的な指導、助言等の援助**に努める
- 推進計画に基づく事業等の実施に要する費用について**国の必要な財政上の措置**
- 推進計画に基づく事業の経費に充てる**地方債**について**特別の配慮**



(2) 土地改良長期計画【令和3年3月23日閣議決定】

- ➡ 令和3年3月に新たな土地改良長期計画を策定
- ➡ 計画では、「人口減少下で持続的に発展する農業」と「多様な人が住み続けられる農村」を目指すべき姿とし、農業農村を下支えする土地改良事業を推進
- ➡ スマート農業実装の加速化、防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進などを新たにKPI（重要業績指標）として設定

農業・農村をめぐる情勢の変化



～ 農業・農村が目指すべき姿 ～



(2) 土地改良長期計画【令和3年3月23日閣議決定】

- ☞ 本計画では、地域政策と産業政策それぞれの視点から、3つの政策課題と5つの政策目標を設定し、土地改良事業を計画的に実施

産業政策の視点

政策課題1 生産基盤強化による農業の成長産業化

政策目標1 担い手への農地の集積・集約化、スマート農業の推進による生産コスト削減を通じた農業競争力の強化



政策目標2 高収益作物への転換、産地形成を通じた産地収益力の強化

地域政策の視点

政策課題2 多様な人が住み続けられる農村の振興

政策目標3 所得と雇用機会の確保、農村に人が住み続けるための条件整備、農村を支える新たな動きや活力の創出

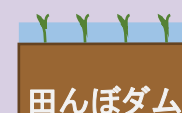


両政策を支える視点

政策課題3 農業・農村の強靱化

政策目標4 頻発化・激甚化する災害に対応した排水施設整備・ため池対策や流域治水の取組等による農業・農村の強靱化

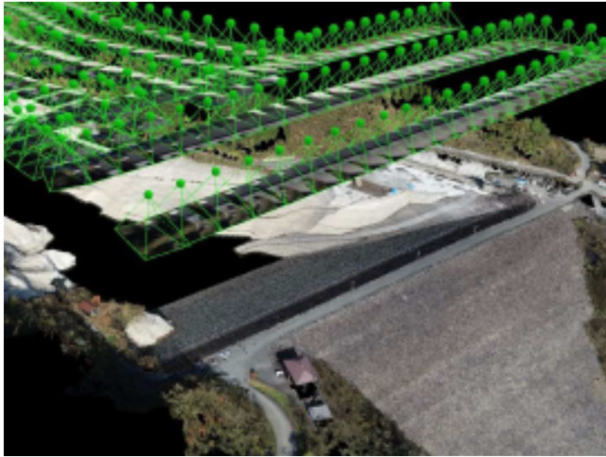
政策目標5 ICTなどの新技術を活用した農業水利施設の戦略的保全管理と柔軟な水管理の推進



第3章

土地改良の未来(あす)

～水、土、里、絆～

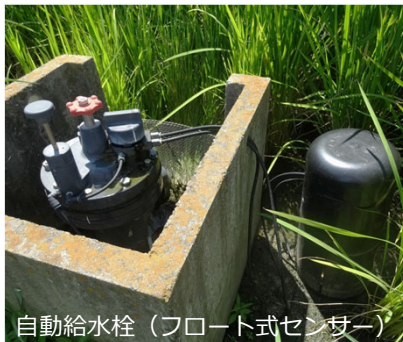


(1)「水」の未来 (用排水管理の省力化・広域化)

☞ ほ場レベルでの用排水管理から広域での用排水管理へ

ほ場レベルでの用排水管理

自動給水栓



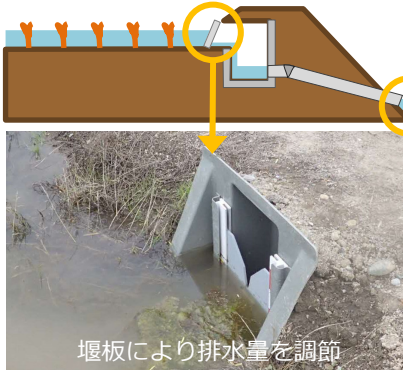
水土総合研究所HP



給水状況

栃木県HP (那須地域 下深田地区)

田んぼダム



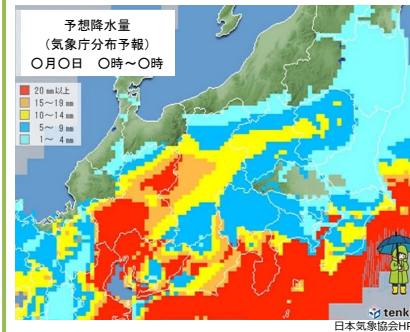
堰板により排水量を調節



田んぼダム実施

田んぼダム未実施

広域での用排水管理



ICT自動給排水栓



端末で遠隔監視・操作



排水機場



ため池

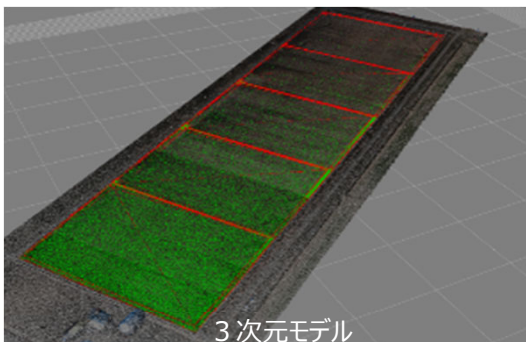


農業用ダム

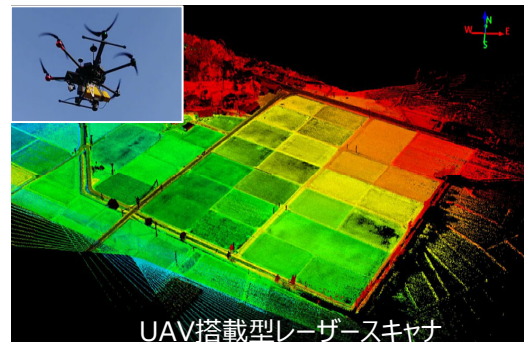
(2)「土」の未来 (農業農村整備事業の情報化)

- 情報化することで、設計、施工、営農の各段階の連携（活用）が可能
- 技術者不足の解消や合意形成の円滑化など様々なメリット

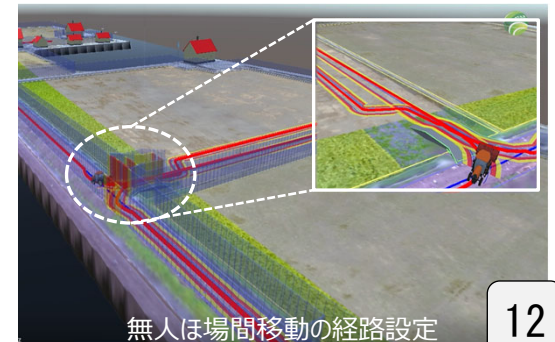
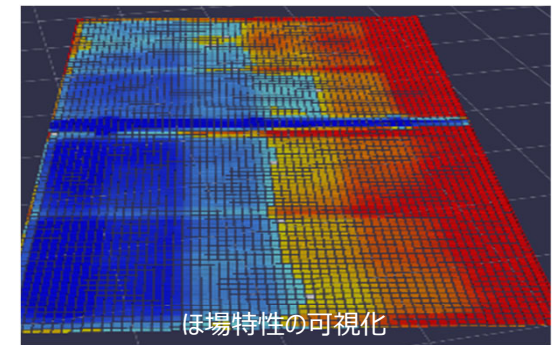
調査設計段階



施工段階



営農段階



(3)「里」の未来 (インフラ管理の省力化・高度化)

- 情報通信環境の整備により、農業水利施設等の管理の省力化や防災・減災機能の強化
- 整備した情報通信環境は地域の活性化やスマート農業等にも活用

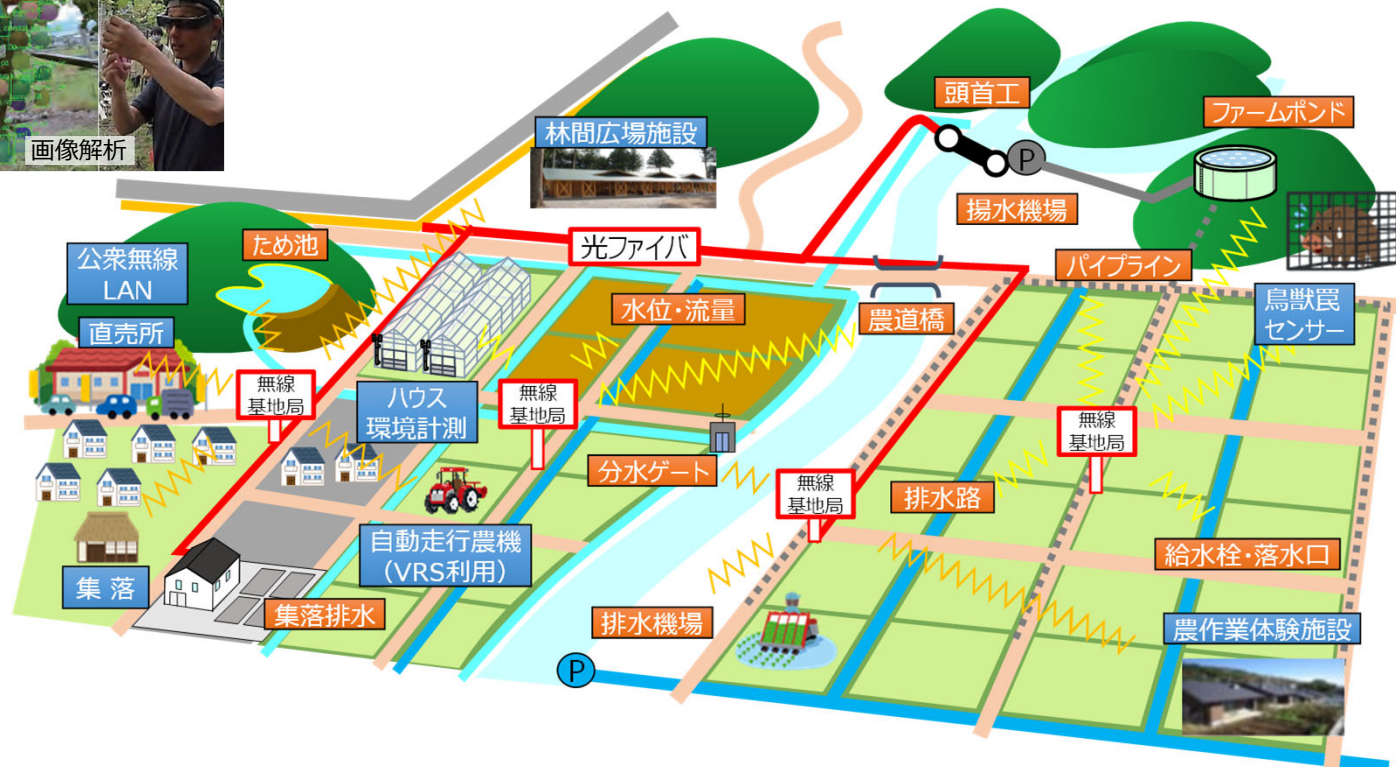
地域活性化



スマート農業

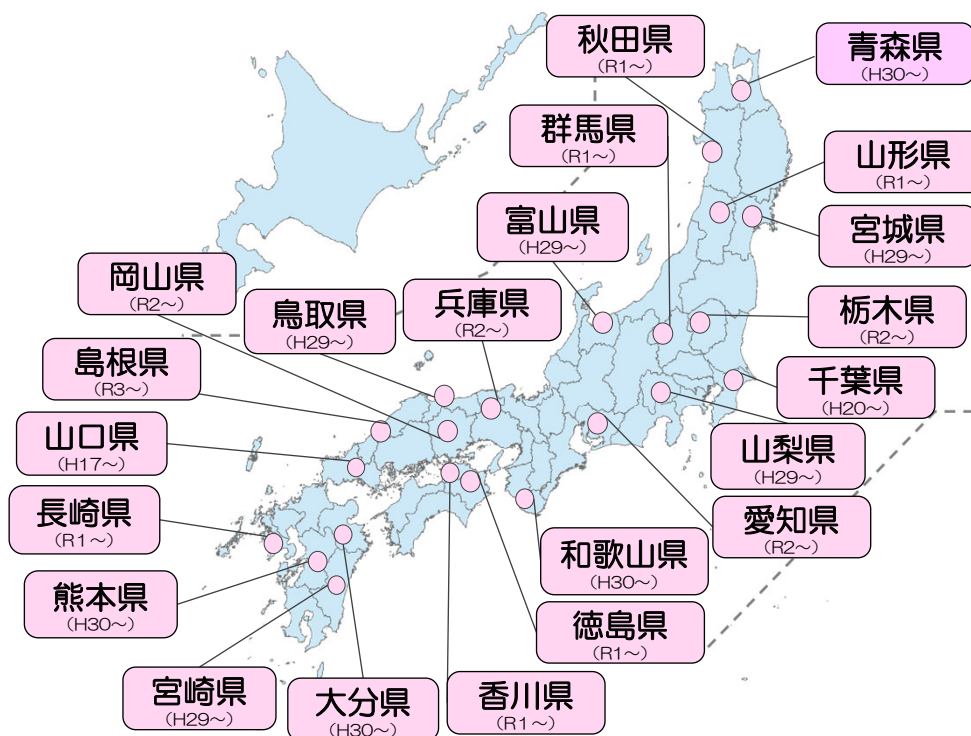


農業農村インフラの管理の省力化・高度化

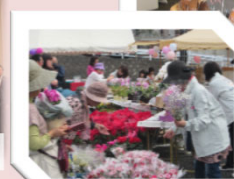


(4) 未来を彩る「絆」(女性の会の活躍)

- 👉 令和元年度以降、新たに11県で女性の会が発足
- 👉 会員間の情報網の確立や、研修会・啓発活動の実施など地域住民の理解促進に貢献



全国22県で
女性の会が活動中！
(R3.8.1時点)



【くまもと水土里ネット女性の会】

近年の活動

- ☆ 中山間地域の魅力や水土里ネットの役割を発信するため、「くまもと水土里マルシェ」を開催しました。
- ☆ 当日は、新米の試食販売など農産物のPRのほか、水土里ネットの役割についてのパネル展示も行い、来場者からは好評の声をいただきました。



未来（あす）の土地改良



御清聴ありがとうございました